

『自分』 作：ポチ子

『自分』 作：ポチ子

自分のことはよくわからない。

出身地はどこで、

生まれた病院の名前はあれで、

好きなモノや、嫌いなもの、

簡単なことは答えられるけど。

長所だとか、

短所だとか、

やりたい事だとか、

聞かれた途端、一言も喋れなくなる。

別にそれはそれでいいのかもしれない。

でも何となく、

自分の事はちゃんと知っていないといけないう気がして、

答えられない自分が恥ずかしくて、

本当の自分なんかを探してみたりする。

そんな自分はどこにもいないのに。

何が出来ても、何が出来なくても、

全部、私だ。

自分をうまく答えられなくたって、

自分のことがよく分からなくたって、

それは全部私なのだ。

だから、自分を探す必要なんかない。

今ここにいる自分しか、自分はいない。

それでいいんだ。